

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2023年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科／子ども教育学科		
科目名称	歴史と社会					授業形態	講義		
科目コード	120230	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	
担当教員名	新名 一仁								ICT活 用
授業概要	<p>「歴史学」には、「何のために学ぶのか?」、「実生活で何の役に立つのか?」といった疑問の声をよく聞く。確かにすぐに役に立つ「実学」とは異なるが、現代社会には前提となる歴史が存在する。現代社会は、歴史的経緯をふまえて形作られたものであり、そこに現れる諸課題も、歴史的背景をもつものが多い。特に、地域間格差・対立や国際関係・紛争は、歴史的経緯をふまえないと理解出来ず、また解決の糸口も見いだせない。また、かつての人々が、社会的課題にどう向き合い、どう克服していったのか、あるいは解決できなかったのかを知ることは、現代社会における諸課題への解決に向けて、さまざまなヒントを提供してくれる。</p> <p>本講義では、おもに前近代(古代から中世・近世)を対象に、社会が形成される過程と諸課題に人々がどう向き合ってきたのか、中学・高校の日本史教科書を基本に、近年の研究成果を交えて解説する。</p>								
関連する科目	歴史と現代								
授業の方法と進め方	<p>中学・高校教科書の内容と、学界における研究成果との違いを、教科書記述の時代ごとの変遷や出版社による記述の違いを比較しながら解説していく。授業の終わりには毎時間10分位でレポートや疑問点を書かせ、次にそれに答える形で理解を深めていく。また、講義中に適宜アンケートを行い、それぞれの認識の違い、理解度の違いにも柔軟に対応していく。</p>								
授業計画【第1回】	<p>第1回 ガイダンス、歴史教科書と歴史認識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史を学ぶことが、現代においてどのように役立つのか解説 ・学習指導要領と教科書の関係を解説し、時代ごとに学校でならう「歴史」が変化することを解説 ・教科書がどのように作られ、出版社によって内容が異なることを解説 ・上記をふまえ、中学・高校で学ぶ歴史がどのような研究に基づいているのか、概説する。 ・あわせて、研究上の時代区分についても解説。 								
授業計画【第2回】	第2回 大化の改新と「日本」・「天皇」号								
授業計画【第3回】	第3回 武士の発生をめぐる教科書記述と研究史 その①								
授業計画【第4回】	第4回 武士の発生をめぐる教科書記述と研究史 その②								
授業計画【第5回】	第5回 鎌倉幕府の成立をめぐる教科書記述と研究史 その①								
授業計画【第6回】	第6回 古代から中世の対外関係をめぐる教科書記述 その①								
授業計画【第7回】	第7回 古代から中世の対外関係をめぐる教科書記述 その②								
授業計画【第8回】	第8回 中世の「一揆」に関する教科書記述 その①								
授業計画【第9回】	第9回 中世の「一揆」に関する教科書記述 その②								
授業計画【第10回】	第10回 豊臣秀吉の全国統一と惣無事 その①								
授業計画【第11回】	第11回 豊臣秀吉の全国統一と惣無事 その②								

授業計画 【第12回】	第12回 島津荘と惟宗忠久
授業計画 【第13回】	第13回 惟宗忠久とは何者か？
授業計画 【第14回】	第14回 関ヶ原合戦の研究史
授業計画 【第15回】	第15回 関ヶ原合戦の新視点と島津氏の敵中突破
授業の到達目標	1) 中学・高校教科書の内容の時代ごとの変化から、歴史認識の変遷と進化を理解する。 2) 中学・高校教科書の内容と、学界における研究成果との違いを理解し、歴史認識の形成について理解する。 3) 歴史学における研究手法の基本を理解することで、歴史を学ぶ意義を理解する。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外の学習 【予習】	毎回講義の最後に次回で対象とする時代・内容を伝えるので、中学・高校時代の教科書を読んでおくか、図書館で概説書に目を通しておく(30分)。
授業時間外の学習 【復習】	毎講義後、配布資料や講義中のメモを読み返し、理解度を深める(30分)。
課題に対する フィードバック	講義最後におこなうミニレポートに応える形で、理解できなかった部分、疑問点に答えていく。
評価方法・基準	下記のふたつで評価する。 1) 講義ごとのミニレポート 50% 2) 期末試験(持ち込み可) 50%
テキスト	プリントを配布する
参考書	・ 中学教科書(社会)、高校教科書(日本史) ・ 山本博文ほか『こんなに変わった歴史教科書』(新潮文庫) ・ 『《新版県史》45. 宮崎県の歴史』(山川出版社、2015年) ・ 『《新版県史》46. 鹿児島県の歴史』(山川出版社、2016年)
備考	